

都市再生整備計画 (第4回変更)

草薙駅周辺地区

静岡県 静岡市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	しずおかし 静岡市	地区名	草薙駅周辺地区	面積	168 ha
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度
				交付期間	平成	19	年度
					平成	23	年度

目標

大目標：地域と大学等との連携やJR草薙駅と幹線道路による南北連絡強化と駅前の顔づくりによる、質の高い文教環境を活かした地域交流のまちづくり

目標1：鉄道による市街地の分断を解消・緩和し、南北地区間の自由で安全な往来の実現の推進

目標2：大学、芸術、自然環境、住環境等の優れた地域資源を活かした魅力ある駅周辺整備の推進

目標3：地域の様々な市民団体・組織間の連携の強化と大学生の若い力を活かした交流やイベント等の活性化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・草薙地区は、旧清水市・静岡市の市境部分に位置し、JR線と静岡鉄道の2線が利用できる交通至便な市街地である。JR新幹線・在来線以南(南地区)は静清地区土地区画整理事業(県施工、昭40～平5、132.1ha)によって計画的な基盤整備がなされるとともに、後背丘陵地の豊かな自然環境等も背景として、市内有数の優良な住宅地と、静岡県立大学、県立美術館・図書館の立地による文教地区が形成されてきた。歴史資源として日本武尊をまつる草薙神社もある。また、草薙駅前地区、南幹線地区の地区計画により、駅前の商業空間、質の高い住環境の形成と維持がなされている。駅周辺は個店中心の近隣商業地でありながら空き店舗がほとんどないという状況にあるが、大学等のある「学園街」の駅前としての特性や魅力はまだ不十分という面もある。

・一方、JR新幹線・在来線以北(北地区)は、企業や製造・流通業等が立地する産業ゾーン(住工混在地域)となっており、南地区とは好対照の市街地及び都市機能の受け皿となっている。ただし、北地区には商業集積や、JR草薙駅の北口がないため、住民生活という面では南地区との格差が大きく、また南地区の商業集積や駅南口との往来のためには、迂回路や踏切道のボトルネックを経由せざるを得ないなど、不便な生活環境を余儀なくされてきた。JR草薙駅北側には、まとまった企業用地があり、当該企業の協力により、計画的な基盤整備やまちづくりを行い得る可能性は高い。

・以上から、南北住民間の交流は少なく、都市機能面でも相互に連携・分担するという関係は薄かった。また、コミュニティの核である公民館の老朽化といった問題もある。

課題

・鉄道による南北分断、生活利便性の南北格差を解消するため、南北方向の交通・歩行者連絡性を抜本的に改善する必要がある。

・特に、JR草薙駅において、南北連絡性の確保、北口開設、交通結節機能の拡充は大きな課題となっている。これらの整備・改善にあわせて、南北地区それぞれにふさわしい駅前の顔づくりを行うことも課題である。

・さらに、南北間の連絡性確保や往来の促進に終わるのではなく、南北地区の住民交流や、両方の住民が相互に使いあうような交流施設等の整備と有効利用が必要である。

・このようなまちづくりに際しては、後背丘陵地の文教施設、自然・レクリエーション環境、歴史資源などの地域資源を効果的に活用するとともに、地元大学と連携を図りつつ、大学と地域住民、さらには企業・鉄道事業者等が参加した体制によってまちづくりに係る検討や活動を推進することが必要である。

将来ビジョン(中長期)

既存の文教施設等を活かした、高度な文化・レクリエーション機能を維持していくとともに、地区周辺の住宅及び商業と一体となった拠点形成を図る(静岡市都市計画マスタープランより)。

・静岡市都市計画マスタープランでは、清水区の骨格を形成する拠点(地域拠点)として草薙駅周辺地区が位置づけられている。

・同マスタープランの清水区の都市交通の方針(主要な交通結節点の方針)では、駅前広場等の未整備により、駅利用交通のほとんどが南口に集中するといった問題を抱えているJR草薙駅北口においては、駅前広場の整備や歩行者空間のバリアフリー化を推進し、駅利用交通の分散化と交通の円滑化を図り、交通結節点の機能強化を図るとされている。

・静岡市景観形成ガイドプランでは、JR草薙駅・県立美術館周辺地区は、自然・歴史・文化などが一体となった草薙の魅力を引き出す景観づくりを目標に、①草薙神社等を活かした歴史性を高める景観づくり、②文教地区の玄関口にふさわしい草薙駅前及び南幹線沿道の景観形成、有度丘陵の緑と調和した住宅地景観の形成、④文教地区としての魅力を向上させる景観づくり、を景観形成のテーマ・方針としている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 駅周辺のまちの魅力度	%	市民アンケートによる①「草薙駅の駅前周辺に魅力がある」、②「御門台駅の駅前周辺に魅力がある」という回答割合(5段階のうち上位2段階を回答した割合)	JR草薙駅及び静鉄御門台駅を中心として各事業の効果を確認するため、駅前の魅力について市民へ確認する	① 16.2 ② 7.1	平成18年 平成21年	① 28.3 ② 14.3	平成23年 平成23年
2. 地域交流センターの利用者数	人/年	有度地域交流センターの年間利用者数	南北市民の交流促進の指標として撤去新設を予定する有度地域交流センターの利用者数を把握する	43,031	平成17年	45,079	平成23年
3. ワークショップ等への住民参加人数	人	ワークショップ・地元説明会・市政ふれあい講座等への地元住民の参加人数について、これまでの実績から推定される5カ年推定累計と最終累計との比較	事業に対する住民参加の意識向上や魅力あるまちづくりに向けた住民との協力体制の構築を目指し、地元住民の各事業への参加人数を把握する。	5カ年推定累計 265	平成21年	5カ年累計 600	平成23年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 南北地区の連絡機能の充実と公共交通の利便性向上のための基盤・環境整備の推進</p> <p>・鉄道による市街地の分断を解消・緩和し、南北地区の住民の自由でバリアフリーな往来を実現するため、JR草薙駅橋上駅舎化及び南北自由通路並びに駅周辺の整備による交通結節機能の強化と幹線道路整備事業の推進を図る。</p> <p>・南北交通のボトルネックとなっている踏切道の整備や改良を行い、公共交通の利便性向上を目指す。</p>	<p>(都)一里山長崎線整備(基幹事業/道路)、一里山長崎線詳細設計(提案事業/事業活用調査)、一里山長崎線周辺道路整備検討調査(提案事業/事業活用調査)、JR草薙駅周辺交通結節機能検討調査(提案事業/事業活用調査)</p>
<p>整備方針2: 安全で快適な歩行空間整備と地域のシンボルとなる駅前の顔づくりの推進</p> <p>・静岡県立大学、県立美術館・図書館等の丘陵部文教ゾーン～豊かな環境の住宅地ゾーン～駅前のにぎわいゾーンを通じて、美しく快適で、バリアフリーかつ安全・安心な、歩く人々のためのまちづくりを進める。</p> <p>・JR草薙駅及び静鉄御門台駅周辺において、文教地区・優良住宅地、産業ゾーンにふさわしい品格とにぎわいのある駅前の顔づくりの推進を図る。</p>	<p>(都)一里山長崎線整備(基幹事業/道路)、有度地域交流センター整備事業(基幹事業/高次都市施設)、市民サービスコーナー整備事業(提案事業/地域創造支援事業)、児童館整備事業(提案事業/地域創造支援事業)、一里山長崎線詳細設計(提案事業/事業活用調査)、一里山長崎線周辺道路整備検討調査(提案事業/事業活用調査)、JR草薙駅周辺交通結節機能検討調査(提案事業/事業活用調査)、住民交流のまちづくり活動支援(提案事業/まちづくり活動支援事業)、バリアフリー基本構想重点整備地区におけるバリアフリー改良事業(関連事業)、</p>
<p>整備方針3: 地域の様々な市民団体・組織間の連携の強化と大学生の若い力を活かした交流やイベントの活性化</p> <p>・老朽化している清水有度公民館を、その前面の市道一里山長崎線の整備にあわせて改築し、南北地区住民のための交流拠点、身近な行政サービス拠点として機能拡充を図る。</p> <p>・災害時に地域の拠点となる避難場所の確保と整備を図る。</p>	<p>旧清水有度公民館解体(提案事業、地域創造支援事業)、有度地域交流センター整備事業(基幹事業/高次都市施設)、市民サービスコーナー整備事業(提案事業/地域創造支援事業)、児童館整備事業(提案事業/地域創造支援事業)、住民交流のまちづくり活動支援(提案事業/まちづくり活動支援事業)</p>
<p>その他</p> <p>○住民、大学、企業・鉄道事業者等の参加によるまちづくり部会(予定)</p> <p>・複数の分野にわたるまちづくりを住民や大学・学生、関連企業の参加によって進めるため、まちづくり部会の創設を検討する。</p> <p>・具体的には、「安全・安心まちづくり部会」(地区全体の安全・安心について検討)、「駅前の顔づくり部会」(JR草薙駅南北駅前の顔づくりについて検討)、「住民交流のまちづくり部会」(地域交流センター改築などについて検討)の3つを予定する。</p>	

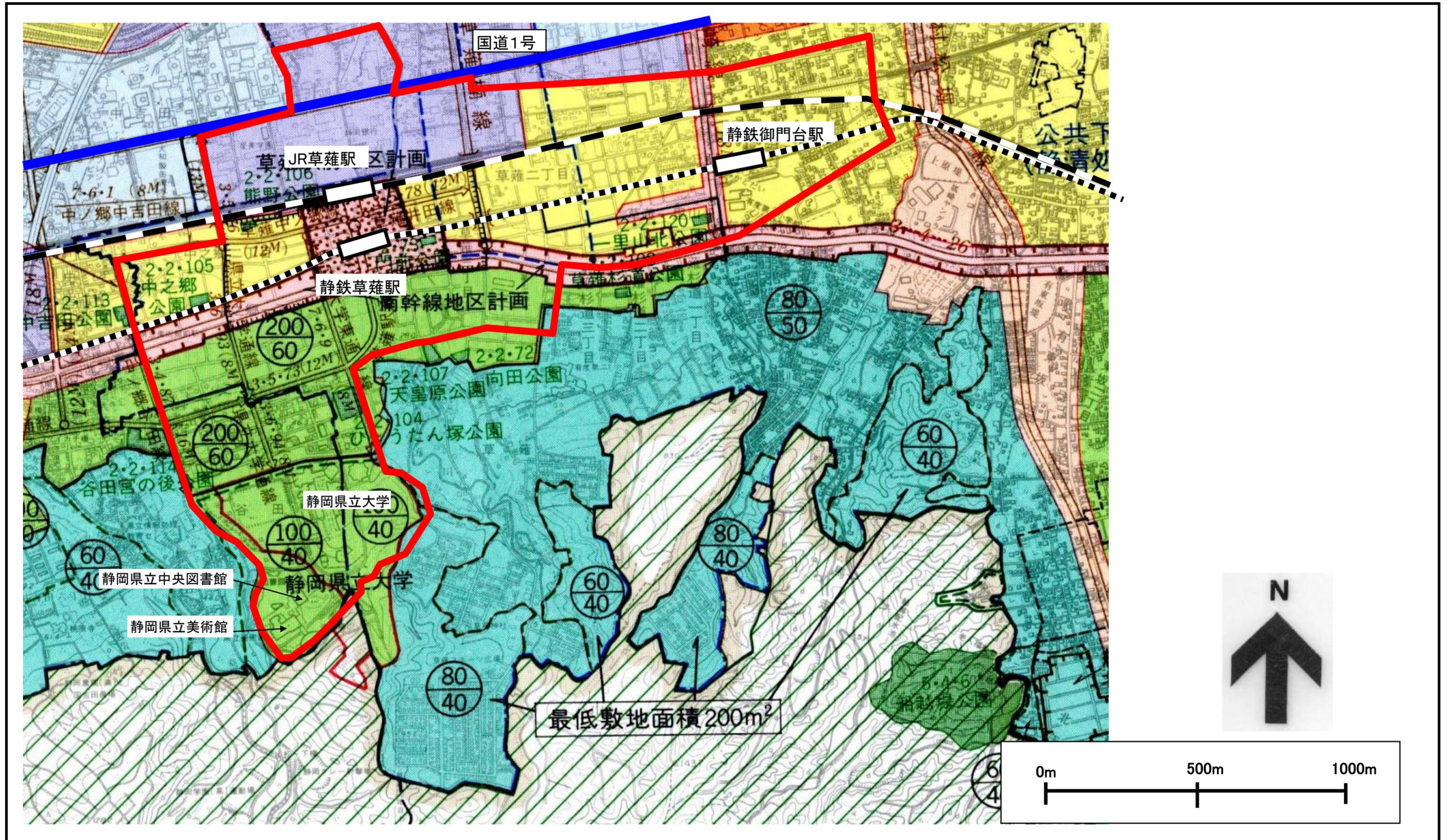
<都市再生整備計画の整備方針等>

【記入要領】

- ・必要であれば適宜行を追加すること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

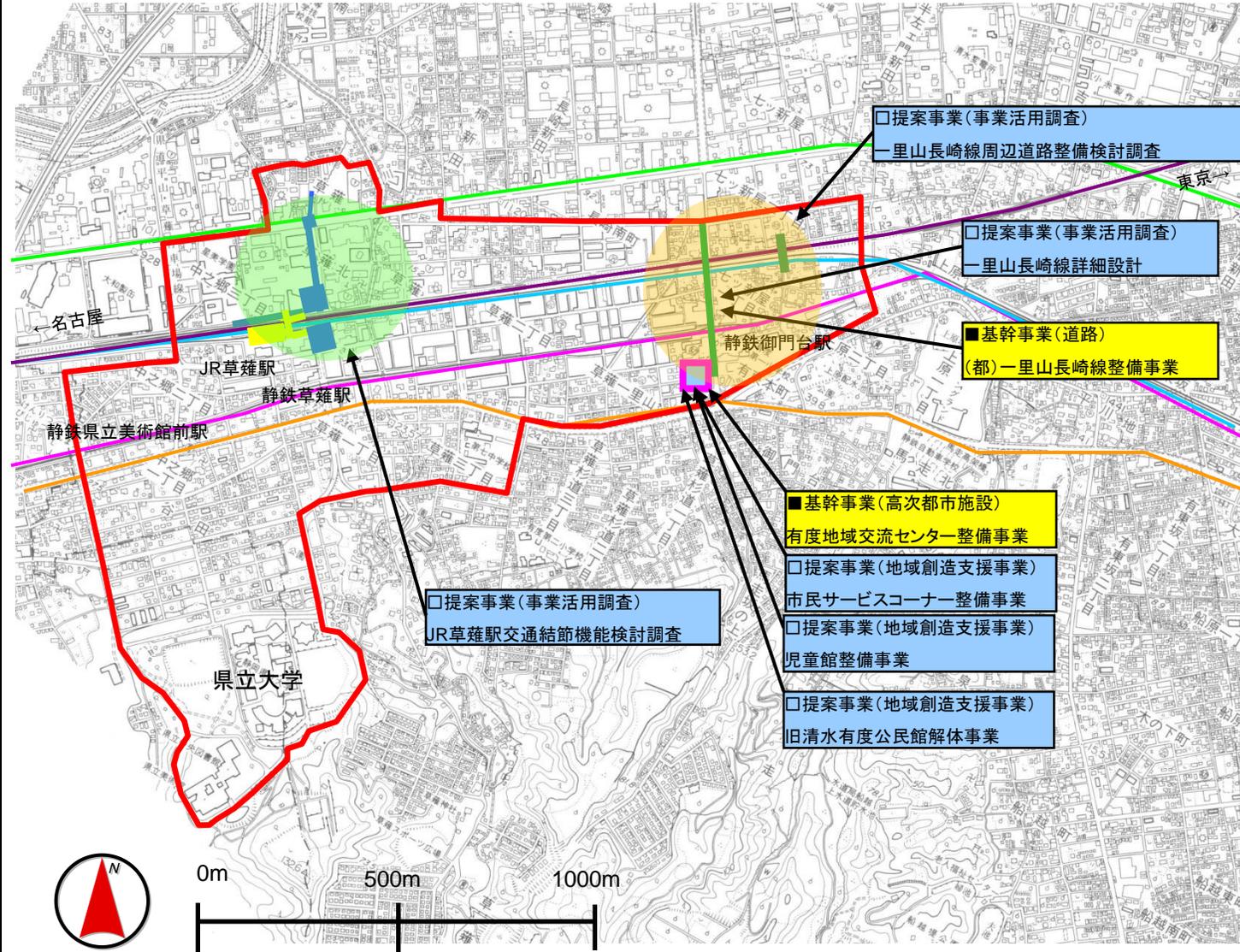
都市再生整備計画の区域

草薙駅周辺地区(静岡県静岡市)	面積	168	ha	区域	清水区草薙、草薙北、中ノ郷、谷田、楠新田、長崎南町、七ツ新屋、上原、有度本町、草薙一里山、駿河区谷田
-----------------	----	-----	----	----	--



草薙駅周辺地区(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標	地域と大学等との連携やJR草薙駅と幹線道路による南北連絡強化と駅前の顔づくりによる、質の高い文教環境を活かした地域交流のまちづくり	代表的な指標	駅周辺のまちの魅力度 (%)	16.2・7.1 (18・21年度) → 28.3・14.3 (23年度)
			地域交流センターの利用者数 (人)	43,031 (18年度) → 45,079 (23年度)
			ワークショップ等への住民参加人数 (人)	推定累計266 (21年度) → 累計600 (23年度)



草薙駅周辺地区
168 ha

- 提案事業(まちづくり活動推進事業)
まちづくり活動支援事業
- 提案事業(事業活用調査)
一里山長崎線詳細設計
- 提案事業(事業活用調査)
一里山長崎線周辺道路整備検討調査
- 提案事業(事業活用調査)
JR草薙駅交通結節機能検討調査
- 提案事業(地域創造支援事業)
市民サービスコーナー整備事業
- 提案事業(地域創造支援事業)
児童館整備事業
- 提案事業(地域創造支援事業)
旧清水有度公民館解体事業
- 提案事業(地域創造支援事業)
- 関連事業
バリアフリー基本構想重点地区におけるバリアフリー改良事業

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

国道1号線	
南幹線	
JR東海道新幹線	
JR東海道本線	
静岡鉄道	